

# J A グループ宮城 災害復興ニュース ( 総合版 )

## 第 4 3 号

【平成 24 年 8 月 6 日 ( 月 ) 発行】  
発行：J A グループ宮城災害復興本部  
編集：J A 宮城中央会  
〒980-0011 仙台市青葉区  
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F  
電話番号：022-264-8207  
FAX 番号：022-216-4466  
E-mail：jataisaku@gmail.com

### 《目次》

- I. 復興本部からの情報提供
1. 菅原中央会長ら J A グループ代表が 3 省庁に復旧・復興で人的支援など要請
2. 「国政の場に多くの理解者を」。県農協政治連盟を政治団体に改編
3. 復興元年への思い込め、「がんばるみやぎの農業フェア」
4. 復興支援イベント T B C 夏まつりで環境保全米を P R
5. 静岡県の 8 J A が県内の被災 5 J A にお茶や飲料を支援
6. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 11 次請求
7. 国際協同組合年 ( I Y C ) 宮城県実行委員会が発足。記念イベントに約 9 0 0 人
- I. 復興本部からの情報提供

#### 1. 菅原中央会長ら J A グループ代表が 3 省庁に復旧・復興で人的支援など要請

J A 全中の萬蔵章会長と J A 宮城中央会の菅原章夫会長、J A 岩手県中央会の田沼征彦、J A 福島中央会の庄條徳一会長らは 7 月 24 日、農水省と文部科学省、復興庁に東日本大震災からの復旧・復興に関する要請を行いました。

人的支援など復興推進体制の強化、農地復旧、排水設備などの整備の加速化、原発事故対策では賠償金の早期支払いや風評被害の防止対策などを求めました。菅原会長は平野達男復興相に「復興計画を企画できる人材が必要だ。支援事業は継続してほしい」と要望しました。平野復興相は「放射能の影響は大きい。農業者のやる気をそがないよう取り組みたい」と答えました。



#### 2. 「国政の場に多くの理解者を」。県農協政治連盟を政治団体に改編

県農協政治連盟は 7 月 20 日、J A ビル宮城で第 54 回通常総会を開き、これまでの任意団体から政治資金規正法に基づく政治団体として組織改編することを決めました。国政の場に多くの理解者を送り出し、農業政策を国政に反映させられる組織づくりを進めます。改組初年度の 2012 年度は、組織基盤を固めるため、実行組合長会や座談会などで、政治団体化への説明を行い、正組合員の全戸加入を進めます。

また総会では、来年改選を迎える山田としお参議院議員に推薦状を手渡しました。山田としお宮城県後援会総会も開かれ、今後とも同議員の政治活動を支援していくことを確認しました。

### 3. 復興元年への思い込め、「がんばるみやぎの農業フェア」

ＪＡグループ宮城と県産県消推進協議会は7月7・8日の2日間、「復興元年 がんばるみやぎの農業フェア」を、仙台市の勾当台公園市民広場で開きました。とれたての新鮮野菜や農畜産物、農産加工品などを販売し、農業復興にかける生産者の思いをアピールしました。

野菜や加工品などを並べた県内ＪＡのブースの他、東日本大震災直後から本県を支援しているＪＡ全農山形のブースも設けられ、特産サクランボなどを販売しました。宮城県産黒毛和牛の試食、本場山形いも煮やハクサイと豚肉のしゃぶしゃぶの振る舞いなども行い、にぎわいました。

### 4. 復興支援イベントＴＢＣ夏まつりで環境保全米をＰＲ

ＪＡ宮城中央会は7月21・22日の2日間、仙台市の勾当台公園で開かれた復興支援イベント「ＴＢＣ夏まつり」に出展、おにぎりのチャリティー販売などを行い、みやぎの環境保全米をＰＲしました。おにぎりは2個100円で2日間で合わせて400セットを販売。売上金は震災義援金として被災地に贈られます。

### 5. 静岡県の8ＪＡが県内の被災5ＪＡにお茶や飲料を支援

静岡県の8ＪＡから7月12・13日、県内の被災5ＪＡに合わせて2,200ケースのお茶や飲料が届きました。ＪＡ静岡市、ＪＡとぴあ浜松、ＪＡ遠州中央、ＪＡ清水、ＪＡ富士宮からは、お茶のボトル缶、ＪＡ伊豆太陽からはオレンジドリンク、ＪＡあいら伊豆からはサイダー、ＪＡ御殿場からはペットボトルの水が贈られました。

### 6. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第11次請求

ＪＡグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は7月20日、東京電力への第11次請求を12億36万9,422円とすることを決め、7月31日に請求しました。

東電からは6月28日～7月19日に、仮払いと本払い合わせて26億7,000万円の入金があり、既に会員に振り込まれました。7月19日現在、請求総額は104億2,400万円、受領総額は68億9,900万円で、請求対比66%となっています。

### 7. 国際協同組合同年（ＩＹＣ）宮城県実行委員会を設立。記念イベントに約900人

国際協同組合同年（ＩＹＣ）宮城県実行委員会の設立委員会が7月6日に開かれました。ＪＡ宮城中央会、みやぎ生協、県漁協など12団体が連携して、ＩＹＣの行事を開き、協同組合の価値と役割についての広報活動に取り組むことを確認しました。また、同委員会委員長にＪＡ宮城中央会の菅原章夫会長を、副委員長に齋藤昭子県生協連会長と菊地信悦県漁協経営管理委員会会長を選びました。

この後、約900人が参加して記念イベントを開催。劇団わらび座の「ミュージカル おもひでぼろぼろ」を鑑賞しました。

